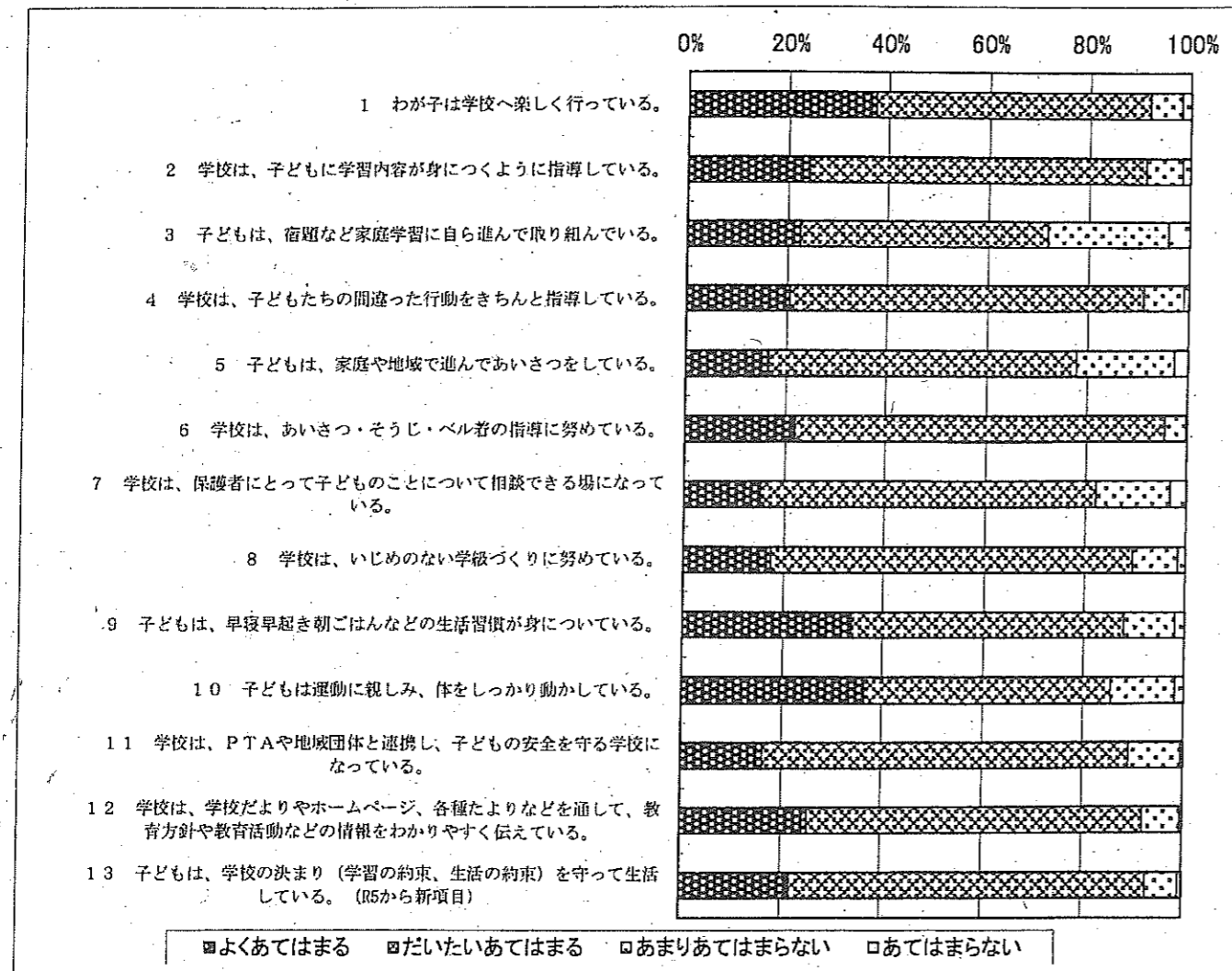


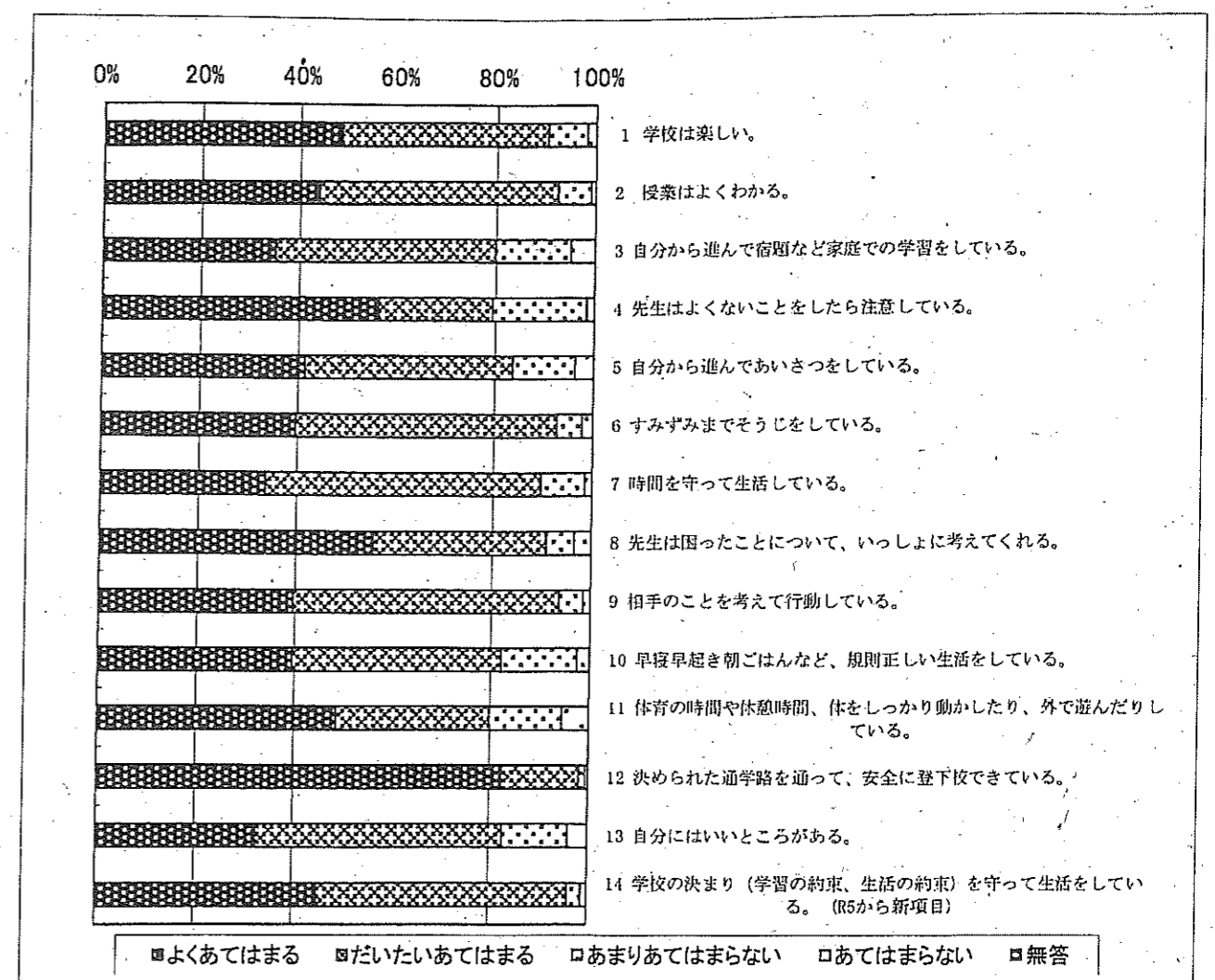
令和5年度 保護者・児童アンケート集計結果

令和5年12月4日～12月11日実施

昨年の12月にはアンケートに協力頂きありがとうございました。アンケートの結果については、児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的評価と捉えて結果についてまとめています。



保護者アンケート 回収数 401人/560人 回収率72%



児童アンケート(3年生以上) 回収数 329人/375人 回収率 88%

【結果のまとめ】

【全体】

- ・保護者アンケートの回収率は72%(昨年度92%)でした。アンケート回答へのご協力ありがとうございました。
- ・児童アンケートは3年生以上に実施し、回収率は88%(昨年度は99%)でした。
- ・保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が最も多かったのは、「6. 学校は、あいさつ・そうじ・ベル着の指導に努めている」で肯定的評価の割合が96%(昨年度91%)でした。これに対応して児童アンケートの「5. 自分から進んであいさつをしている。」の肯定的評価の割合は86%(昨年度85%)でした。また「6. すみずみまでそうじをしている。」では93%(昨年度90%)でした。高学年の児童を中心に広がってきた朝のあいさつ運動も影響していると考えられます。ご家庭においても保護者の皆様のお声かけや、地域の皆様の温かいご支援のおかげであると感謝申し上げます。
- ・児童アンケートの中で、肯定的評価の割合が昨年度と比べて高くなった項目の1つに、「13. 自分にはよいところがある。」が挙げられます。昨年度は80%でしたが、今年度は84%に上がりました。子どもたちの自己肯定感を高めていく教育活動に、今後も取り組んで参りたいと思っております。

【学習面】

・保護者アンケートの「2.学校は、子どもに学習内容が身につくように指導している。」(91%)に対して、児童の「2.授業はよくわかる。」(92%)と約90%の値です。毎日の学習活動における、めあてや振り返りの定着、学び合い学習やICT機器の学習場面での効果的な活用等が進んできたものと考えます。一方家庭学習については、項目内容を「中学年45分、高学年60分」というめやすの時間を削除しました。保護者72%(昨年度70%)、児童80%(昨年度61%)という値を示しています。児童は昨年度の結果よりも高くなりましたが、今後も宿題の出し方や保護者の方々との共通理解を進め、改善していく必要があると考えております。

【生徒指導面】

・保護者「4. 学校は、子どもたちの間違った行動をきちんと指導している。」(91%)に対し児童「4. 先生はよくないことをしたら注意している。」(92%) また、保護者「8. 学校は、いじめ等がない学級づくりに努めている。」(90%)に対し、児童「8. 相手のことを考えて行動している。」(94%)と約90%以上の値です。報道相を徹底した組織対応が浸透してきていることが窺えますが、学校としては保護者、児童共に100%を目指したいところです。

・保護者「6. 学校は、保護者にとって子どものことについて相談できる場になっている。」について、昨年度の76%から少し向上しましたが82%であり、学校と保護者との連携を密にしていこうという意味で、今後もしっかりと取り組んでいく必要があると考えます。

【基本的な生活習慣】

・保護者、児童共通「9. 早寝、早起き、朝ごはん」については、保護者88%、児童82%ということで、昨年度よりやや改善されています。引き続き、学校と家庭が連携し、子どもたちの生活習慣の改善に努めていきたいと考えます。

・今年度から新しい項目として「学校の決まり(学習の約束・生活の約束)」を入れました。保護者93%、児童96%となっています。子どもたちは、決まりに対する意識を高く持っていると思受けられます。今後も、学校生活における基本的な生活習慣を身につけていけるよう、指導・支援に努めます。

【保護者・地域連携】

・保護者アンケートの項目で、「11. 学校は、PTAや地域団体と連携し、子どもの安全を守る学校になっている。」の結果が、89%(昨年度87%)でした。登下校における見守り活動等において地域と保護者が共に協力し、温かく行動していただいていることへの評価であると考えられます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。